

新技術活用計画書・実施報告書記載のポイント

工事期間及び新技術施工期間

工事期間

- ・工事の工期を記載 ※活用申請時の工期

新技術施工期間

- ・新技術の施工予定時期を記載

工事概要

内容

- ・工事概要 ※新技術の概要ではありません。

対象数量

- ・新技術の対象数量

現場施工条件

- ・制約がない場合は「特になし」で構いません。

※「障害や問題の有無」「作業環境」のチェックを忘れずに。

活用理由

活用理由の項目にチェック、採用理由を記載

※従来技術と同等の項目は、活用理由に

該当しません。

活用効果調査表記載のポイント

比較する従来技術

比較する従来技術は、NETIS申請情報の従来技術となります。

活用効果		
比較する従来技術 現場打ち基礎コンクリート		
項目	活用効果	比較の根拠
経済性	向上 同程度 低下 (-44.51%)	従来技術と比較して、製品費および施工費が高価となる。
工程	短縮 (15.79%) 同程度 増加	従来技術と比較して、養生日数が不要のため短縮可能となる。
品質	向上 同程度 低下	従来技術と比較して、基礎版が工場で製造された製品のため品質が安定している。
安全性	向上 同程度 低下	

もし、別の工法を従来技術とした場合、次のような不具合が生じる場合があります。

- (1)それぞれの調査表の比較技術がバラバラだと、統一的な評価が出来ないことから、事後評価が出来ない。
- (2)評価結果によっては、開発者から、異議が出される可能性がある。
ただし、どうしても馴染まない場合は変更しても良いのですが、事後評価に使用されない場合もあります。

活用効果調査表記載のポイント

従来技術の比較方法の確認

NETIS情報をよく読んで、**従来技術**と何の項目をどのような条件で比較するのか、よく把握したうえ、実際に現場で使用した結果を記入して下さい。

評価とコメントの整合

「効果調査」と「評価の視点」の評価がコメントと合っていないと評価に使えません。チェックした内容と必ず整合を図って下さい。

また、コメントには、効果調査(評価)の理由、及び、当該技術を活用及び活用検討する上での留意事項等を記載して下さい。必要に応じて定量的なコメントをお願いします。

効果調査				
従来技術より劣る	従来技術より優れる			
<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

足場の組立日数が従来技術より減ったため、経済性が向上した。

従来技術より優れる場合、理由などを書いてください。

優れていた点	
<input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため	
<input type="checkbox"/> 作業人員が減少したため	
<input type="checkbox"/> 仮設費が減少したため	
<input checked="" type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため	
<input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より多かったため	
<input type="checkbox"/> 維持管理費の減少が見込まれるため	

劣っていた点	
<input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため	
<input type="checkbox"/> 作業人員が増加したため	
<input type="checkbox"/> 仮設費が増加したため	
<input type="checkbox"/> 施工日数が延長したため	
<input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より少なかったため	
<input type="checkbox"/> 維持管理費の増加が見込まれるため	

活用効果調査表記載のポイント

新技術に関連しない評価項目

技術内容や技術特性において当該評価項目が評価に関係ないと記入者が判断した場合は、「当該技術に関連しない評価項目である」にチェックして下さい。
また、【コメント】欄にその理由を必ず記載して下さい。

工程

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる		
<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	

当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

優れていた点

- 施工日数が短縮したため
- 工程計画が組みやすかったため
- 予定工程どおりに進捗したため
- 施工性が向上したため
- 仮設が減少したため
- 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため

劣っていた点

- 施工日数が延長したため
- 工程計画が組みづらかったため
- 予定工程どおりに進捗しなかったため
- 施工性が劣るため
- 仮設が増加したため
- 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

項目が評価に関係ないと判断した理由を記載。

6つの評価項目以外の調査

基本の6つの評価項目(経済性、工程、品質・出来形、安全性、施工性、環境)以外で新たな「調査項目」が必要と記入者が判断した場合はその他の欄に記入して下さい。

上記項目の他に評価事項がある場合は本項目にて評価を行って下さい。優れていた点、劣っていた点はコメント欄へ具体的に記載して下さい。

その他

タイトル 全角20文字以内

効果調査

従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる		
<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5	

当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

新たな調査が必要と判断した場合記入。

活用効果調査表記載のポイント

○経済性の記載

施工後の効果やコストは評価の対象外

この活用効果調査は、工事施工中の効果の確認のため、工事施工後でしか解らない効果やランニングコストは比較の対象外となります。

経済性ランニングコストを含んだ比較をしている新技術もありますが、**イニシャルコストのみで比較**してください。

コメントは評価項目と関係する内容を記載

例えば、経済性のコメントに「品質が向上」、「施工性が向上」等、経済性には関係しない記載がされていることがあるので注意してください。

経済性									
<p>効果調査</p> <table border="1"><thead><tr><th>従来技術より劣る</th><th>同等</th><th>従来技術より優れる</th></tr></thead><tbody><tr><td>○1</td><td>○2</td><td>○3</td><td>◎4</td><td>○5</td></tr></tbody></table> <p>○当該技術に関連しない項目である</p> <p>コメント 全角1000文字以内</p> <p>機器の使用により測定精度の向上が図られ品質が向上した。</p>	従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる	○1	○2	○3	◎4	○5	<p>優れていた点</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため<input type="checkbox"/> 作業人員が減少したため<input type="checkbox"/> 仮設費が減少したため<input checked="" type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため<input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より多かったため<input type="checkbox"/> 維持管理費の減少が見込まれるため <p>劣っていた点</p> <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため<input type="checkbox"/> 作業人員が増加したため<input type="checkbox"/> 仮設費が増加したため<input type="checkbox"/> 施工日数が延長したため<input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より少なかったため<input type="checkbox"/> 維持管理費の増加が見込まれるため
従来技術より劣る	同等	従来技術より優れる							
○1	○2	○3	◎4	○5					

経済性に関するコメントになっていない。

活用効果調査表記載のポイント

○経済性の記載

比較範囲を確認する

申請情報では、直接工事費、仮設費込み、材料費のみ等いろいろなパターンで掲載されていることから、申請情報に応じた比較が必要です。

コメントは結果だけではなく、なぜそうなったかを簡単に記載

効果調査				
従来技術より劣る		同等	従来技術より優れる	
<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3	<input checked="" type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 5

当該技術に関連しない項目である

コメント 全角1000文字以内

部材・施工費ともに従来技術より安価となった。

安価となった理由を記入。

優れていた点
<input checked="" type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が減少したため
<input type="checkbox"/> 作業人員が減少したため
<input type="checkbox"/> 仮設費が減少したため
<input checked="" type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため
<input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より多かったため
<input type="checkbox"/> 維持管理費の減少が見込まれるため

劣っていた点
<input type="checkbox"/> 機械経費・製品単価・補助材料費が増加したため
<input type="checkbox"/> 作業人員が増加したため
<input type="checkbox"/> 仮設費が増加したため
<input type="checkbox"/> 施工日数が延長したため
<input type="checkbox"/> 施工量が想定数量より少なかったため
<input type="checkbox"/> 維持管理費の増加が見込まれるため

活用効果調査表記載のポイント

○工程の記載

比較条件を確認する

申請情報では、時間の尺度が日単位、月単位、作業範囲も実作業日のみ、施工期間中、準備・後処理の有無等いろいろなパターンで掲載されていることから、**申請情報に応じた比較が必要**です。

効果調査	
従来技術より劣る	従来技術より優れる
<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2	<input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
<input type="checkbox"/> 当該技術に関連しない項目である	
コメント 全角1000文字以内	
<div style="border: 1px solid black; height: 40px;"></div>	

従来技術と比べて施工性が向上した理由などを記入。

優れていた点
<input type="checkbox"/> 施工日数が短縮したため
<input type="checkbox"/> 工程計画が組みやすかったため
<input type="checkbox"/> 予定工程どおりに進捗したため
<input checked="" type="checkbox"/> 施工性が向上したため
<input type="checkbox"/> 仮設が減少したため
<input type="checkbox"/> 維持管理にかかる日数の減少が見込まれるため

劣っていた点
<input type="checkbox"/> 施工日数が延長したため
<input type="checkbox"/> 工程計画が組みづらかったため
<input type="checkbox"/> 予定工程どおりに進捗しなかったため
<input type="checkbox"/> 施工性が劣るため
<input type="checkbox"/> 仮設が増加したため
<input type="checkbox"/> 維持管理にかかる日数の増加が見込まれるため

活用効果調査表記載のポイント

○総合的所見の記載

施工後の期待される効果に対しての結果を記載

この総合的所見は、工事施工後の従来技術に対して、優れていた所や劣っていた所などを書いてください。**非常に貴重な意見**となりますので出来るだけ記入してください。

総合的所見	NETIS掲載情報の『期待される効果』に対して、活用した結果はどうか
優れていた所 全角1000文字以内	
劣っていた所 全角1000文字以内	
留意する所 全角1000文字以内	

**些細の事でも出来るだけ記入。
とても参考になる項目です。**

活用効果調査表記載のポイント

○施工写真と要望・改良点等の記載

施工中の写真や改良点などを記載

施工中や完成後の写真を添付してください。また従来技術が適切か、改良点や要望があれば記入してください。

当該現場ではNETIS掲載情報の「比較する従来技術」は適切でしたか

適切であった 適切でなかった

適切でなかった場合、どんな従来技術と比較したらよいか、従来技術名を記入して下さい 全角127文字以内

今後、当該技術を活用できる工事の場合に活用しますか

今後も是非活用したい 活用を検討したい 場合によっては活用することもある 技術の改良を強く望む

理由 全角127文字以内

従来技術よりも施工工程が少ないため。

当該技術について改良点・要望・その他ご意見ありましたら自由に記入して下さい 全角1000文字以内

適切でなかった場合
適当と思う従来技術
名を記入。

施工状況等の写真 ※写真ファイルには、サイズ300×200程度のGIF形式またはJPEG形式の画像ファイルを指定してください。

写真はGIF形式とJPEG形式で
容量は300×200程度で添付し
てください。

写真1



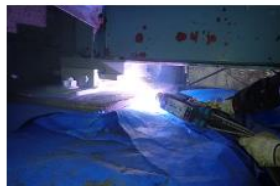
参照...

登録済み写真名:支承1.jpg

※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

作業前

写真2



参照...

登録済み写真名:支承2.jpg

※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

作業中

写真3



参照...

登録済み写真名:支承3.jpg

※画像サイズは2MBまでのものとしてください。

作業後

活用効果調査表記載のポイント

○その他

チェック漏れに注意!!

近年の提出頂いた調査表を確認すると単純な記載漏れが多いので**提出前に一度確認**をお願いします。

調査表の提出

1つの調査表に発注者、施工者がともに記載した上で提出して下さい。
また、**調査表の提出がないと工事成績の加点対象となりません。**